



埼玉医科大学医学部

同窓会会報

第71号

平成29年12月



巻 頭 言

副会長 辻 美 隆



暦の上では立冬を過ぎ急に寒くなってまいりましたが、皆様に於かれましてはいかがお過ごしでしょうか。ここ毛呂山の地も朝晩はかなり冷え込むようになりコートが必需品となる季節を迎えております。

本会報前号で伊藤副会長も述べていますが、今年度、大学では国家試験成績を挽回すべく様々な改革が行われております。次の国家試験より500題3日間から400題2日間に変わることを受け、卒業試験も500題3日間×2回から400題2日間×2回に変わりました。2週連続の金曜・土曜の試験ということで、6年生も体調・精神力の維持に苦労されたかと思いますが、卒試が終わってからも、例年に比べ学習棟（6年生専用の勉強会室）の明かりが夜遅くまで灯っており、国家試験に向け更なる実力向上を図るべく日夜勉強しているものと察せられます。卒試後の期間に行われる授業についても、単なるまとめではなく、各領域のトピックス・国試予想問題など今の6年生に不足している部分を強化するような内容となるよう設定し、実際に授業を担当する先生方にも周知しております。また、これまでの成績が芳しくなかった学生については、6月から補習を行い、本学としては初めての夏合宿も行いました。既卒者については、同窓会として、全国模擬試験を受験させるなどのサポートの他、会食し情報交換する場なども設けておりますが、みなさん表情が明るく元気であり、「改めて勉強する機会が持ててよかった」というようなポジティブな考えを持っているようです。全員が合格することを確信しております。

本会報67号でも触れましたが、本学においても医学教育改革は着実に進んでおり、現在の2年生からの新カリキュラムでは臨床実習の期間を延長し、臨床実習の内容もクリニカルクラークシップ（CC：診療参加型臨床実習）を中心とした、さらに充実したもの

となる予定です。また、全国統一基準での医学部の卒業要件となる「臨床実習後 OSCE（客観的臨床能力試験）」が平成32年度より実施されます。正式実施に先立ち、平成31年度には全国81医科大学・医学部が参加する全国トライアルが予定されておりますが、本学では来年度、約半数の医科大学・医学部によるトライアルに参加すべく準備を進めております。

このようなOSCEや臨床実習前の臨床技能教育、シミュレーション教育などが効果的に実施できる教育実習棟の建築が、50周年記念事業の一環として予定されております。地上7階（地下1階）建て、1フロアの床面積は約1,000㎡という大きな建物で、1階は300名収容可能な大講堂、B1階・2階・3階は基礎医学系の実習室、4階は模擬病室をも備えたシミュレーションセンター、5階・6階は34室のゼミ室と7つの演習室としても使用可能なOSCEセンター、7階は多目的な使用が可能な広々としたプレゼンテーション室となる予定です。今年度末に着工し、平成31年夏頃に竣工予定とのことで、現在、9号館と短大校舎の間の整地作業が進行中です。50周年記念事業につきましては同窓会としても全面的に支援しておりますが、会員各位におかれましても後輩達の学習環境の整備のためご協力のほどをお願い申し上げます。

昨年11月の丸木清浩名誉理事長のご逝去から早や1年の月日が流れました。先日、一周忌・偲ぶ会が営まれましたが、改めて故丸木清浩名誉理事長のリーダーシップにより埼玉医科大学グループが発展してきたことを実感いたしました。残された我々同窓会にできることは、同窓生でもある丸木清之理事長を支え、大学創立50周年、100周年に向けた更なる発展に寄与することであると強く感じました。



お

知

ら

せ

落合記念賞研究助成金の公募について

第29回落合記念賞研究助成金（若手研究者による、医学上将来性に富む研究に対して、1件100万円を上限として毎年3～4件を対象に助成）を下記の通り公募致しますので、ご希望の方は所定の申請書をご提出下さい。

第29回落合記念賞研究助成金応募要項

- 1) 申請資格者
埼玉医科大学医学部同窓会会員（但し、教授・准教授・医学部学生は対象から除外する。）で、平成30年4月1日現在40歳未満の者とする。
- 2) 研究者
個人または複数であっても構わない。協同研究者が申請者の所属と異なっても構わない。
- 3) 研究期間
原則として2年以内に研究成果が得られる研究であること。
- 4) 申請に必要な書類（4～5枚1組）
＊申請書－所定の書式用紙〔3枚、7）に該当する者は4枚1組〕に記入のこと。

＊推薦書－所属学科長ないしは科長、またはそれに代わる者を推薦者として、所定の書式用紙に記入のこと。

- 5) 申請期間
平成30年1月15日～3月30日迄の間に、上記の申請書類一式を埼玉医科大学医学部同窓会事務局に提出のこと。
- 6) 助成金について
助成金は最高100万円までとする。
授与式は同窓会総会で行う。助成金の交付方法その他については、受賞者に総会終了後説明する。
なお、研究継続が不可能となった場合には、直ちに同窓会会長に報告するとともに、未使用額分の助成金は同窓会に返納しなければならない。
- 7) その他
申請の研究と同一とみなされる研究で、既に他の助成金の交付を受けている場合、あるいは申請中の場合には、申請書（4）にその内容を明記し提出のこと。なお、同一の研究題目で既に他の助成を受けている場合は、なるべく応募をご遠慮下さい。

編 集 後 記

埼玉医科大学同窓会会員の皆様へ会報第71号をお届けします。本号には、6月に開催された総会の議事録や会務報告などの同窓会からのお知らせの他、Student Exchange Programの報告記が掲載されています。海外の7大学から来学した14人、本学から海外の大学に留学した18人から寄せられた文章はいずれも劣らぬ気合いの入ったものであり、是非ともご一読頂きたいと思います。1ヶ月弱の短い留学期間であるにもかかわらず、大学や病院で学んだことだけでなく、色々な人との交流や観光の様子なども書かれており、有意義な日々であったことがよくわかる内容です。

少し前に日本から海外への留学生が減少しているということが話題となりましたが、外国という異なった文化の中での生活は本当に貴重な経験になります。言葉の壁や習慣の違いなど色々大変なことはあるものの、本号に掲載されている外山先生の海外留学体験記にあるように、あとから思うと“いい経験だった”と言えるようなことがたくさんあります（多分、留学を経験された会員の方の多くも同じような気持ちではないかと思います）。職場や仕事の都合、家庭の事情など難しい問題もありますが、留学未経験の会員の皆様には是非とも留学の機会が巡ってきますようお願いしています。そして、留学が決まりましたら、同窓会で行っている“海外留学奨励助成金”に奮って応募してください（公募のお知らせがこの編集後記の近くに掲載されていると思います）。私も留学時にこの制度に応募して助成して頂いたのですが、本当にありがたかったことを覚えています。この他にも落合記念賞研究助成金、産業医研修会の開催など同窓会では会員の皆様への助成、支援活動を多数行っています。こういった活動のお知らせは同窓会会報に掲載いたしますので、十分に活用して頂ければと思います。 清水（禎）記

原稿募集のお知らせ

埼玉医科大学医学部同窓会では、同窓会会報に載せる原稿を広く同窓生より募集しております。内容は特に問いません。同窓会あるいは大学に対するご意見、ご要望、または開業や近況報告など何でも結構です。埼玉医科大学医学部同窓会宛にお送りください。なお、ご掲載の可否に関しては会報編集委員会において検討させていただきご報告いたします。

海外留学奨励助成金の 公募について

医学部同窓会では、正会員の海外留学を支援するために、助成金の公募を行っています。募集要項及び助成金申請書をご希望の方は、同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

*申請資格

埼玉医科大学医学部同窓会正会員で、1年以上継続して医学研究のため海外留学を予定し、応募前年度までの年会費を完納している者。

*募集期間（毎年）

前期 2月1日～7月31日

後期 8月1日～1月31日

編集委員長：柳澤 守文

編集委員：鈴木 将夫、杉山 聡
辻 守史、田中 政彦
稲葉 宗通、岡田 文寿
清水 禎彦、後藤 誠一
清水 正雄、中島理津子
武者 育麻、森田 佳代

埼玉医科大学医学部同窓会会報 第71号

平成29年12月1日印刷、発行

発行者 埼玉医科大学医学部同窓会

埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL 049 (276) 1112

FAX 049 (294) 8880

E-mail : dosokai@saitama-med.ac.jp

URL: <http://www.sms-dosokai.jp/index.html>